内・鮮・満・台・南洋・北支を一貫して

全部法制局へ

伊兵五千名

【東京電話】昭和十二年政站の部底は四日午前十時上洋湾印

というかく。

一部指元第四千百五拾春坪一部指元第四千百五拾春坪

一社寺地八百四治四年の新京港道京城府瀬井町登塔地ノ東

としては飛回りの心遣ひであらう。果質をため一口とばかりの有質天章魚などを鰆に並べたのも、都安」ぐつと女の手首を掴んだ。 熱れた

りと引き寄せ

● 単血温性的 夢茸トニク ●

四阶坪拾四坪五合参与七字。参附坪礼拾七坪社合七勺八字

んせるの意味 方で突然ばさ きなり和尚の太い腕が伸びて

見りはしませ

やりましたの りに、今夜は お流進ひは無用お

触京総治・城府資洞町五番地ノ建坪百七石四平成合総句

さんが来るか をなさいまし

でさんが跳つて 明放兵衛に安女 門の謎にからみ 担ばかりは、 してでござらう 落ちたのであ まいから

こざんすもの! いあるまいに お親は部かに拒

和股み たすつて んらもうおつも こは申しません

扱くと、そのま 与たお級、選

を頭用心なさ にお綴の低い聲

スペインにお

ける利權獲得

和互權益を尊重

大記金主張に強っ以下主公を地震 一位人生変に合う。 一位人生変に強って 一位人生変に合う。 一位人生変に強って 東京、「新月記と」と、「第一人」 東京、「新月」と、「新月」」と、「新月」と、「新月」と、「新月」と、「新月」と、「新月」と、「新月」と、「新月」、「新月」と、「新月」」と、「新月」、「新月」と、「新月」」と、「

東京 類別的な形式の関係と対する。 東京 類別的な形式の関係を表す。 東京 類別的な形式の関係を表す。 新雄な機関の、原格別の関係を表す。 新雄な機関の、原格別の関係を表す。 新雄な機関の、原格別の関係を表す。 新雄な、大きにそれる。 「日本のである。」 「日本のである。 **灣館式木造瓦貫平家建大造最適** 

勳三等大川平三郎儀 **父貴族院議員正五位** 

豫而病氣之處客臘三 付御通知ニ代へ此 日午後九時逝去候

=

段謹告仕候 時ヨリ二時也築り本明寺 追面來ル一月八日午送一 別院二於テ佛式二依り告

別式相營可申候

昭和十二年一月四日

嗣 東京市福野川路中里町 大 臌 雄

大 ш ш 戎

子爵:進 親戚總代 田 澤 中榮八 敬 作三郎

友人總代

藤 原 次

野 津 灩 總 歌 歌 歌

根 淺 日 石 元 滑 郎

總督府の御用始式

朝鮮鐵道株式會社

列格奉告祭

氏義正族伊 檀咖啡状

見せて護つも懸かつてゐる で、た前線の中に選せた色を には、マニス国策とか、「マ ルセイユの夕野」などが重 ルセイユの夕野」などが重 が、一般では、「マース国策とか、「マ ルセイユの夕野」などが重 が、「で、ス国策とか、「マ ルセイユの夕野」などが重

六月に執行

生命に発用犯別山神 近女阿密

他の所ないるに思ったが

「原南神祇で郷大な列格泰告で記上飛足を見たので来る六河俗することとなりこれが証

心中語時時間所用語小語

「原的神社で盛天な列位」

で學生仲間の人類を集めてゐる、先頃

致れるなんて駄目だよ、こちら

心臓の膨い男とみえてそのまま変けりや表から来い」と一喝すれば

本七李錫趙氏方でもガタコトと欽を聴した。と聞もなく京城農芸町

いるの天氣

ぜ」といへは「あ」、僕の緒が

(壁)で原名すると、裏門をとお雅せ、様一と浮かれてゐる音家感の原を人二瓶更徹君(で)が正月の一杯後、痰が鶴田し妻を晦した、『まあ一四日年前一時ごろ宣城県龍町「八一『龍か』と、どなると暗の中から籐田

どなた様もご用心

今時年始でもあるまい、道が彼し、も際に用いてるやう解釈では趣つんとしてゐる怪骸を絶脱「コラッ」わらつて憑まは難るから松の内で

上の ・

但し一 一階は

午後九時まで完業

ま午 で後 渋 時

於 六階キャラリー 後援 京城教育會

主催 朝鮮教育新出社

んとしてゐる怪酸を態況「コラッ

ーモアと観閲さか溢れてゐる

◆ ○ 双張睚疇、 異話のルッポつ山

日景に珠玉蓮新から火かつき 非面男々の一大語など

上面的物でも相当に、物質

一首神上国西 田屋お子大百

◆大阪出宝の様合に寄付は歴史 別もなく大インプレ防御 物質 北平にふさはとい相揚付とみる

經はこくに集建しられた 切られ時期初世四に出島に発神 前町の一角を頸卵取引所をから

登砲を吹き無ばした二個高である。新の大きに買出を操してるた明一

らうとの連だ(夏寅は朝鮮取引)水器と「候、外一頓、記六個が撫・現ナマはザツと「干魚」立いだ「散と同じの生蝕(幡、附縫一橋)」

|本町器の手で破船線局されて明治||一艘一敗落を告げたが照利七年ご||り同屋安東新産州の南地を置いて「お守存の金塊に確断性として京城||町地金商級力、石磁の路館事代は||ろ湾万南磁の総館機群は

**徳力、背後の人物今村僫** 

愛媛縣で百姓をしてゐた

前町強い連の僕に響かりこんだ

更に其の昭江を贈り返して見ると

主題が埋められてあることが削りつて見ると素が色の直正一尺位の

ゆるので不見識に思つて其臓を損

か二次の能費に置が約ぶだらうて……」と

育羅朝住宅地の緊肚な中宅!

一般るのが城大階は高数指の伊

各両の反動で僅か基高に一年のも人組体・一層島、半力新原は

の存に

買方のふところへ二十萬圓

景氣の爆發

生来正真な爺さんは「こかな田畑を

職類岩田川峰里松山民大き

むない強連にはり上連ル原作用

は本計に直播越北の手続きをとつ

と同時に趣思書には、規定に基言二

こるたところ此程本可學務局より「平明を財製することになつた、年」

**星道所線建在所に即け出で共能で「物であるから図家に副職せしむる**り出されたので正確な標面さんは「石古物は高麗時代貝斯の段重な古

一千国のご褒美

のたが呼平六旦畑を守く時間の光

初年を迎ってい

ト明朗

1十二年度保存にこれが所要が翌一朝鮮人第の領球師に優勝の共和化に銀田 |をはかっと共に

側蓋器官の優遇。いつべく脳を影響を重ねてあるが、呪は一致の制温を期待されてある。

仁川の出初式

所の初亡賞)

大盤振舞

「二甲」「川道原際任何の出到政」就で信何による新半級的を明く 自能天に難る に終つた、たら近日正平から公園 題、同即小があつて、水井行刊来数をうならせた、 黙佛客長の令旨奉

供を修殺

逆上したキじるし

一喪中に付年賀缺醴仕候

スと衝突

腦日

浦 廣 治

三名死傷

速記局給費生募售

宋(第三回)

四三人名斯斯

は人型に以際のは、10mmのでは、10m

董

一錢 平定世田谷成場 中央運記練習所中央護官商等官ノ途アリ地方派會一月中央護官商等官ノ途アリ地方派會一月

天 天 使 解 编 编

日午後八時ごろ豆釜線安置一等 車の受難 無燈火自轉

城 京 進 躍 座王の地宅住 全 (「事務所」 博文合住宅地経済 本(分譲筆数)第・風三十五第(「第百坪内外 東忠地公園で入道河三丁 東忠地公園で入道河三丁 東忠地公園で入道河三丁 は、一体では、一体ので

分讓 内外

の春に

から水脈郁南回衿井里菜在文(三)から水脈郁南回衿井里菜在文(三) 境大で自動車を飛ばして来たのに 川房で生命を属 国に水脈近立機能に増き込まれた **山凹面突しバスに割られた三名は** (で)が水酸へむかふ途中町の 語で京水バス(連続手重水西石 が梁は頭を削つてゐたゝめ間もな

米局六七五一**番** 

機關車と貨

込んだ、並ざんすつかり有順天とさんに大枚二手層の腫瘍薬が糖け 田線に山散 智智 百米を徒歩地 韓の能融類なし、冷脈化は密集。由行列車が進行中機開車と低車 傷かなかったが、これがため 一茂三時半ころ頭蛇躍道殿 金属削の下り毎配を古地 死傷者はない

由都書局からその旨を修進。

く屠蘇前分を寒風に吹き飛ばして朝鮮神宮に参釈して慌行動動物開削へ出で大利町で含蔵して全市に漫々の馬蹄の書も高い色が

に難念たる四百所編の乗場所は「際に分れ一部は子島脈より 新内全部行時間に、一院は西北山より新波の藤町町立を記て

行大 参本校三へ端市國籍が通数本情等ノ海郎アリ の試験期日==三月十九日、二十日

三重高等農林

なり生闘の人々も我事の際に真ん

あるが、対係部等と山之上署長は

られてはいかねとの階級から保護

財内议の品對は要素高(字)が同じ 【室山】 土・コーロ午後九時年ごと **贈聞の路!から現れた十名位** 船員を半殺し

杉湖雅代店。質物をして帰宅の

仁川署の初捕物

受の解謝者がどれてに強伏、百生 にかりでで興中の者であつた。 「こ」を指名学院の実力二十八日 は会ず七月大田別務所を出所した。 「一年」を明の職権に帰職した今村徳一間(取調べたとこう一句を自供数がした。 

場所幅の犯行もある模様である。 うに変をくらましたスリ期科 運の鑑き「川川」

化けてゐるところを検索されて

あるが、等方記警事限とはMに 米町署に埋送され取調べを受け

ノ五地小學校六年生於尾トリミのない童心(四川)山上町

松の内でも

カ目より 一口おと

る節を頭劈春新 仕奉初·值初·市初

◆織丸帶 ≒ 均一會 全鮮生徒 書初め展覧會

◆ショール・毛皮一割号 ◆新若家具初市 莊 ◆スケート割引奉仕 Im ◆ 研队服初值大奉仕間 ◇鷹室內遊戲用品□

今日 崩錦紗一割号 高 い良の起縁 布 財 春

二十圓·三十圓·四十圓· 《黑江戸·樓模樣 與人數共 本年もお買物は三中井へ:

一・まる休公の月今

・初春の綜合陳列會四場成

相變らず御引立の程御願ひ申上候 

1・初春の綜合陳列會 神場京和幾らず御引立の程御願ひ申上個

總督、軍司令官、師團長を初め四百餘騎

けふ轡を並べて初乘り曾

債權者各位 原認セラレタル

告に戻り特に登述こて掲載す舞場が企は判約の単但配職の 関五十銭匿名は一回毎に五十 国五十銭匿名は一回毎に五十

ツギメデ軍手

製造家募集

正然に資産域では、 ・ はいかに、 ・ はいがに、 ・ はいがに、

※ 豆口寒内

特別舜贝

大田電氣株式會社

學 (代数) 原間 (代数) 

能本。自日洋、丸 関節二手受密 京城地町二丁目 地揚朝(資本二七九七萬) 古日然七京八三百日本前亡景

事件を

新年お月出度うの優びを交換する一では未別五の分龍に新年に入つ

南総行、小僕重所など、川岸生師歴長、高水卓将局長を先顕む天七八ि総院別に勢揃いし、初春の闊光の下に春郷に打壊る 征域の軍民変態豪連行四百名が職終亡五百年期九時から龍由 て之か精神を高揚する海洋軍及び甘師開共間主催の初張所は おめでたう端書

城の深思納はます人

かけては日本の将軍中国一といはれ府總督を迎へて京 ~ 臓まりつくさるが非常時の質器を聞し

地看一門、王二大、七〇二面 明非に比し一則三分增

に月正お

から、國致。を掘り出して

電信電話

地、正確度を高め、利

てより民衆的ならしむべしと

年頭 所然に代へ我が明節

題みて理談の萬歳と皇室の頻榮期所溢ると新蔵を迎ふるに方り

まざる時運に

事を心懸く

事**賣局長** 棟

翠眨

に同省内に施設してあった當局電

、郵便關係

何を加へつゝある

朝鮮の観信事業が年島の神經系へ 人間前の第に確つ。既みて、東部の 気に強っている。 とぼり、或は産業の脱動力と高

昭和十二年の新春を到く真原悉

の事質である、併し作ら今日のラ チオは単なる文化機関として許り

上地理的に共の環域内の航空施設し、突蘇酸圏とも接換し居る観像 航圧施設は時の財

鶴

Ø) ih

屋旅

篇館

佐久

間

靜

扶

禧

而長 **南** 扶除郡羅岩面

森友正

城

連山面職員

藤富十高橋式一

弐三

AR AR

鴻紫

Ш

農

論山郡

本 本

勇

離

·興

產

社

金加那世所

鎌

☆ 合同運送店 和目標 裡里東拓農場

精米所

倉調通山前

常

蓮 川 田一京城地方法院

李病院

載

旭

漣川

小山

伊三郎

同管內司法書士一同

熊倉新太郎 扶餘產業組合

林田

久仁

男

公置

音張道湖

窺岩研究會

主備

美<u>国</u>国区 深麗

郎作重

協心戮力以て國運の

發展に寄興したい

遞信局長

一、爲替貯金

釜山に、昨年は平歴に放送局の設者は七萬名に垂んとし、一昨年は 今や朝鮮に於けるラヂオの聴取

朝鮮簡易

原長高島仁平

江景土曜會

論山穀物商組合

忠南自

動車

谷蜜

商

店

運送株式會社

外 會議員一同 工業發語。 工業發語。

石富の露屋造元本

盛

治

川原利三郎

つては新設線はなかつたが、南

南朝鮮電氣難

盤江

一 荒 卷

醬

梶原

精米

所

日

江

俱樂部

禹

柱

元

平

井

**指** 信 義

京建造連門

江景出張所

釀造所

論山面協議員

會合 社资 星

野口

精米所

運川釀造株式會社

鶴田

洋服

店

原長 堀

田

定

繁

曜

會

植樹樹

村

Ŧi.

郞

松浦忠三郎

同

僧略 (ア) 交はラルコ

道質議員

西岛

松永

善

松 城田 人口

榮郎吉男

朝鮮麵

山 支 店

上村重

兵

衛

るべき蘇腕及支那の動き、内壁の大部の大部に、日海防共協定、日伊諸定の後に 化して貼る、

同校

扶

餘

廳

**漣川學校組合** 

論

郡

會

議員荒 管理者清

閉米菜 **俞** 元 植 本田大

思清南道郭使所長官、第五屆向上會 林川、利仁、鲁城、論山、林川、利仁、鲁城、岛山、湖山、湖村、石城

各郵 便所

餘 郡 校

漣川自動車部 道會議員 朴 目目

烈

學校

 THE LEGIT TO A LIGHT T	ŗ
<b>漣川郡廳職員一同</b>	

WELLET THE
<b>漣川郡廳職員一同</b>

		洙	
1	<b>思賜授)</b> 些監業調習所		
漣川郡農命	<b>.</b>		

**三郎** 江藤小三郎 洪 颞

今野長次郎 職一員 一 同 歌摩

塞 遊 所 好

服 部 官 富 市 市村 吉 次 郎 正

W H -	十大百四萬-	<b>*</b>	(可認料	物便郵租三第)	<b>***</b> 3. B	<b>坂</b>	K		<b>,</b>	H E	月一年:	二十种的	Test '
	教育			N. J.	新								
未浦稅務署 一 同	<b>整森田商店</b>	木浦無盡裝會社	二木正吉	木浦警察署		富永船具店	水瓶支店長 淺見一雄	新羅羅 尚 田 組	歌 員 一 同 本明文	第門丁皇之二 十 助	雅 員 一 同	富永商店石油部	木浦無線電信局 一同
大風(物産球會社) 2861-0111-18	南一運輸機會社	*#E 中村勘 二	職員 一同	職員 一同	Manage   Manage	秋浦郵便局	三中井木浦支店	日鮮海運整會社	<b>木浦開業醫師會</b>	日華製油等會社 木 浦 工 場	新宮繁雄	雅 貝 一 同	内藤 萬 平
沈忠忠	金元亮	金鴻植	南北棉業 南北棉業 有相花	朝鮮棉花	木浦	本/浦電燈 木浦電燈	木浦府廳職員一	<b>木浦穀物移出商</b> 編	木浦穀物商	木 浦 米 融	木浦公立學校長會	本浦商工會議.	木浦金
公立學校長一門	松本質一一	木原隆良	####################################	朝鮮棉花株式會社	農談會	電話三四·振巻京城一八十三 木浦電燈株式會社	職員一同	移出商福	初商組合	穀取引所	學校長會	所	曜會
崔	黄 海 道 安 岳	元演演员	公立學校職員	岳	<b>安</b> 道 岳	<b>金</b> 宣安岳	學校組合。理者學校組合。理者 農場 主 海 道 安 岳	加藤農揚千拓工事 道安岳郡猪島	加藤	四級 玉乃井旅館 山根市之助	罪	でクシート	斯斯曼 馬特罗 攻雄 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
<b>基本</b>		孝燮	校職員一同	郡農會	郡廳	農場	岡田 謙作	谷組	<b>農</b>	自動車營業所 線 屋 旅 館	朝鐵安岳	張歸客	☆ B 決 潤 下 燦 塚
金、川東山東京、東京、東京、東京、東京、東京、東京、東京、東京、東京、東京、東京、東京、東	明明審	percental manual manu	自川自動車部 龍田工養 簡単工養 簡単工養	中	自用選集	自川製粉所	中 川 黎物組合 由川 黎物組合 由川 黎物組合	東	・		1	柳篇李篇	111
平安北道農村	定州郵便局 定州郵便局		東京 丸加印刷所 東京 丸加印刷所 東京 大加印刷所	平北農事試驗場	定州金融組合 定州金融組合	定州郡農會	-	杉原久米四郎		安田清行		廣州警察署	自然東旅館
<b>※場では、</b>	<b>會新橋</b>	清水組大浦駐在 技術主任 <b>公</b>	波塚 原 道 之	·	{	土木課東草出號	} .			定州納清亭輸電話工	朝鮮石油株式會社4	支配的	○
朴 雅 源	本田	木	道 長之 作助親	(1) <b>性</b> 和	<b>慎 成 龍</b>	油 兼 清	村裁合	·····································	高 正 彌店	定州納清亭輸器蘇	定州稅務署	新木 正 音	定州警察署根
順城空音通學校	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	海 海	合 德	忠肃北道永同郡	李相夏	水同稅務署	收姓名 馬 場 友 慶 (無姓名) 內勝賴好 (無姓名) 內勝賴好	宇都宮善市(* 剛)	永同郡農會		大浦金融組合	新成為 西村 正人	
高橋 正一	明命統督府毀物 群山支所合 德州群山支所合 德州	水利稧	消防組組	公立學校長團		大興電氣禁會社 水同出張所	水同線棉工場。 東洋金山藍製飯所			東京 一	水同岛門 金 一碗	永 同 警 祭 署	本面表现由departs 字和容易二部
3	MC V	<b>&amp;</b> •€	8 F	~ f*			<b>₩</b> *	<b>9</b>	88				

京 城

電話二五八六二番

和二

邊村松佐村藤

濱信寅龍重銳剛 吉治松種一吉藏

山佐

渡中鷹岩

**電話本局八二五** 

和

會株 社式

東

番

食堂

組

合

師京 學京 坡 野京 坂 東京 坡 東京 坡 東京 城 東京 城

電本一三九一·三三六九 東

新長 朴 容 不二確業株式會社 不二確業株式會社 光商會 **職員一同** 安城警察署

IIII 商

母

を表 尹 在 喆 運輸株式會社 振安自動車

理事。

山藻

根書

**職員一同** 安城面事務所

満夫 慶北星州郡內 官 公 吏

同

カフェ

成 會

期

咸北土木建築協會

羽鮮羅南本町八十四番地 職

羅南公立學校 員 同

羅南炭礦株式會社 輝

苅

羅南火曜

會

口

野 产

相 源

體量

呂曲

朝野一

一致

0)

和の完成

仁川府

潍

覧 竹村

榮

高麗 医球霉菌 東 場 場

條

榮

翳点波佐間浩浩

安城酒造論會社

京畿運済

泛語會社

永柔面各端署長 **不安宿道华原郡** 

東亞證券卷至

郡

廳 同

泰

濱田庄右衛門

三好野:

旅館

取締役支配人

立 山 榮 吉山 口 恒 太 郎昭和韶宗株式會社

京建道安城

朴

弼

秉

尹 計 制 制 東

安城编器模造 取締役 社長

一田 原秋三郎 白 井 友 之 助 中 太 之 助

支配人 徐廷切 東二銀行安城支店

翊

仁川花房町 二丁目

京議道安城

**建** 

町安

四城

#舘

城南電

り、社

新

Ħ

X

東洋貿易商會

加部パー六番

票東田

山隆次郎

龍山小寺合資會社

京城府龍山デ町一丁目一二

南 水 町 郎

Щ 信用

-キング

獨津漁港修築

丸三毛布店 電話本局三〇八四番

朝鮮販賣菜會社

製森 品永

京城府漢江通七番地

組合

電話長四二二番

4

道

自さ宮土の根」の女教師、贈"左一郎子、猿の眞似が保証、三十七歳。

一種は別がれ、二十五数

珠 ----子

青木

顧大邱映興商會

方面

店

Ø 爭桂 步爭步

李昌

大

邱

稅

務

署

温暖會社

大邱

料理屋組合

前

倉

庫

大邱製氷會社

大邱朝鮮**酒釀造** 株式 會 社

慶尚北道農會

岡

組

大邱朝鮮酒酒造組

その他婦戶欧計

果物同業組合

堀越友一

郞

·果梅園 點三九五番

共榮自動車 株式會社

古谷治輔商店

大

長會

大

府

棟『

居

酒

造

場

牟田口

利彦

大

郵

村 朝鐵自動車與業 禁

可

大邱印刷合資會社

布村

大邱商

上會議所

朝鮮 2 男製造株式 大邱府七星町

守港

柳

治

鏡

聖館

學校

大邱府東門町

松

商

會

電話長ニー・一七九番

事融

同合

大邱府田町三十五番地

大邱無盡株式會社

大邱府本町 易

鳥 Ш

大場

大邱町元町二丁目二番地ノ

大邱タ クシ 沿面面會 九州監罰堂 · 六 方 店

大邱卸商組合 石 (㎡)合組館旅邱大

过过

明

立田唯吉渡大ホ花井市 花中屋田邊分 屋上喜 歴史 歴史 歴史 歴史 歴史 職 館館館館館館ル館館館

森備靜島不丸桝中つ 田後屋屋<sup>知</sup>嘉屋津た 屋 火 旅旅旅旅旅旅旅旅旅 館館館館館館館館館館館

杉原合芸育社長 長

胍 府

大太 靕

十 屋 傳

官

吾

作

大邱地方專賣局

的鮮運輸裝會社

直

弘

員 同



	。 電腦八香 1			Shr as	一見記録さらなゼルシー配では	ずはスコットランドの産、ゲルン	一北西道あたりではまだく、質素が一個はずのぶんよかつたらしいのに	「富にも像大にもする所以となるだ」を築んだ方がわれ( の文學を置	日本文製の耐潤者がいるんな趣言	で面白い。「竹取物器」などとい
	ş //	吉(鰭西松組欒出張所)	池邊健	るべき子孫に向つての難様の彼に、交遣くゼルンー島から直撃して誇	ればならない。	一切オランダとフリースランドで飼	日路戦争のすぐあとで、世位する。	作家達からどし!(學名べto		・ 近頭特に方々でやかましく言って
	過川邑内		成苗洪原郡前律港	一覧くべき大金で移ひ合ひをしたり、雇用に供し得るが、層性となると	・パーキャもに関しては、お話		て、配色の妙を	その監から言へば文製の概	国文学別の人と文谊との接近が	の中に主張し位置を占める
化		1986日十六二十十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	والماسية والمساول المتالية والمتالية		を 水年被失として無量のある人でも	ウンスキスや英國で一時全蔵	極の色はえび茶であった。最他の	日本の文盤だ	やったわ。これは富然な	別版「枕の京戦」など
	金守根	<b>一 籃 間組製出張所</b>		だから、牝牡の價格は震災の差で	安勢唯大、剛彦北晋比精力絶縁での吐に超越して政然男性を認神し	配で名を思たスキスが代表配記件と一定した	としてなかし、よかつたのである。	んた日本人臭さーーつまり	一いものをかへり見る風潮が見える。	近一 ことは近つてあなかつたことを異
	咸亩端川邑內	咸雞南道威州郡興留呂天機里	一篇韓秉萬	その遺伝の大部分は父方にあるの	べき優形である。社は反射に他艦	ゲルンジー及びゼルシースタインフリーシブン	部職にどのらやうのある無い彼付	どんに日本人の描いたものでもみれど、それでプランス人が見ると	歴に気流に人間を抜きこと	で部分的にしか
	10 M		咸亩利煎那些饲苗	計覧共に 母牛の影響を 聚る もの	でないが、精神な変をしてゐる。	に飾る棚あつたが、	Ľ Ŧ	いものが際山ある	ところだ。今の人はとてもあん	ペー やっしゃいに協分面白いものがあ
	職員一同	奥山忠八	i	世間では、やゝもすれば牛乳の		米國でも古来に牛の	着て様似のおお	たものだで日本人の描いたのだかどといふものはフランス人の描い	智に女と話の表し死に方をさせる。	
ジェ新聞	端川警察署 			壁の試験に反應が無いと認表して	佐	Ą	お正月に校へかよつ	がに向ふで描いて 収た線な		する興味
比近		「「「「「」」」」「「」」「「」」「「」」「「」」「」「」「」「」「」「」「	<b>週沿海業組合</b>	ガナダ取荷もゼルント配には結婆品には結核牛などは一頭も無い。	の計画	館の	おたがひに水縦のつれとあたせばすく様	ランスで日本	よりながら、一儿の『練選毛』をのもさらで、西鶴の猛しさはもと	(
	- CHARLESTANA	•••		His dipodipodipodipodipo		·40-40-40-40	なくて、ど	傳統は目覚するとしないとに描ら	た提供なしくない。徳川時代のも	温度の
	罪金 弘 賢	興南商工會		} -	てゐる。紅みがくつたえび茶の色	簡をはくためのこういふ数付を、	それがやべ	本人の作物といふ紛ふ方のない意	のが語にかいるけれど、それでも	一郎どんなものか耐んで置かなけ
	端川汽業組合	<b>減南咸州郡興電邑</b>	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		*	ついてあて制には	かしさに、	にあつてもそれらの作品は結局日と人工に西国文書の推翻のもと	は男主女も何かといふとすぐ泣く	
	Participated to the Control of the C	(	:	作ある父師浪の遺風をつぐ監律	21	つてみたら	その少の形で	57		はめつたに經滅出来ない。誰んである時のまの同とも言べない光質
一方が限行りサラル	Lights	更有支上	林廣輔			れど、物付のガロン	いんか、とてよ		J.	ゆかない。あゝゆうものを讃んで
一大睪斯會宗成左后二	į	オーご銀	咸南迤湖郵便所長	と晩期すると、さすがの匿庫氏	がひないと思はれた。	文してこしられてもらつてあたけ	り者やしれてみたけれど、でも黄		**	1
	端川和信連鎖店	E 一 艮	The same of the sa	> 紙:	一ち出が一段買へるほどの値段だと	3 to 16 1	これでものだつ		11	一向歩ら
				····	事もさいた事もなかつたのである	はいまだに思れる事	はいくて	S		
		一 暇 員 一 同			などといかものは、それまで見た。	いたもとの上にしらいてみたお餅	です。こう。あなたのお父さんは ですった。まなたのお父さんは			日本の古典を踏んでゐるんだ。
	薜 仁 錫				やうな心理がして、毎日ひそかに	お餅をもらつていったが木織の黒	73		Ŷ	候は近頃背の本を置んである。
電影響	咸自端川邑內	一 興公判 等 深 署 一	and the second s			そ、公司には紅白の	つ 以用 つ 徳文して織つても		P	うわけなんだらうね。
•	130 F 131 A 132 Age 1 A 1 1 1 1 1 2 1 1 2 A 1 1 1 1 1 2 1 1 2 A 1 1 1 1	المرادوية أدوية أدواهم والمرواة ويهادوية تروياهم ووالمرادة ويعا		C140-0-000-0000	さすがにその話をさいた。時だけして、近くからだかめて記れ事	子供ごこうご言じたせるかもしれ	私のまではそのふだん音を、父	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	A	- KT
	<b>建</b> 和(摩川	1988年110番			、と、量、アッドのもなりにはも一人は軸の統定業に多少の反話を抱	タもにて らやうな気が	、能より着せてくれなか	沙		
・	站川君波道面		/.		変用されるとの事であつた。ふだ	く對し、みて、もたひ	せう。後、状がやかましくて			ようとしないだけなのだ。しかし けてみるだけで積極的に働きかけ
9	前一下なる三日	喜樂館			は何でも華族女皇校の戦闘たちが、「韓国といい」となって、	がこもつてろう。こが代の唱歌が	もひ言いでにつんに水服を着て育			たの或は受身にいつても刺戟をう
·····································	<b>西村田村</b>	越南與南岛			新鮮になる限にか、なっていた。	おもつても同様でちのチーンと	1 11 76	例	りへ信	が強い、戦は狭いといふだけなの
班班利·阿尔德尔德·小克里西亚拉尔 医门里拉斯拉耳氏管 计通识器 计通识器 计通识器 计通讯器计算计算计算计算计算计算计算计算计算计算计算计算计算计算	「	主 化岛和人		**********		つた。日の電景ロ	川川加な意味			_
	奥 住 巌	胸南本		潤した、ところが、梅見人情味	でもはいてんるけれど、姉は原京。近に行った。オシミキの上等点語	た日連が、モスエンを一つの開発。黒木絹の宮付にえび、市の存をはい	のは大で、一人に、もめもといっては大で、一人で、私たもで、このあ			
電話前日一二番	奥住運送店	カフェー 香 一利			はこうできないでからとなる態を出めた。		いった。近を持つてる	W		り、ても人跡未踏の山の中にあるわけ
建	<b>凱茲威密線子佛山驛前</b>	色良		しゃこしたので、ジャーナリス		かないのだが、場によのうつくし	うだいと云はれる事が	仙田菱畝畵	新年試筆	
<b>牙</b> 切 「		11 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 -		一枚 すげずく めくつても みく	とらべて来平はようそれが私のとお正月用の新しいのを一着つくこ	確してうつつている。	本後と「やっし、 質別の方がよく	Ť.	時代の人がいかにも帰	
	音響	遠田 野 西 遠	<b>✓</b> ,		は小学生のくせに経道業で、健学	らぬこころがかべつて	作じっけたの	本文としたければならなかつれのプランだので、日本文集は代けり日	酸んでもう一つ気づくことはこののはもつともだ。からいふものを	・ いつてもさらいふものを離れて存む。 知りにによれる。 女性の問題と
京城府京町十一番地	T T	タェーオリオン				つたが、製造のできれる	なぜ、「八八八型龍」などとコツゴ	かういった。ここにはよりはな	昔を語の健康のやうに	いっぱいというのないやで
	化鲜雨廣社	咸海與南巴本町		りのジャー		数付に動流のやうなものをぶらざったあった。ほのふるい気質に、黒	切りてサーヤへ出したぎ いつせ	は順もない	がないからでめる。芥川などが今	状態、政治や経済の動向、習俗の
	或與併在答道二	100 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	とり		4	婚人がたはいづれる	い語では、く、自分の幼時の題	文學の一部によって修選したこと	まへ、質に面白いから。	<b>当まなくても新聞は避む。 配資の</b> ふ時代に生きてよるのだ。 類異じ
即総に対する国		一些別自轉車商會是	)	<b>'</b> ''		ものがあつて、そこの	れど、カッヤうはそん	一逃避であるとするのが文明常融で	の語をゆつくり拾ひ遊みしてみた	思報はない。同じやうに現代とい
公分をで	Ž	現情解的通り			よどうなで澤山こしらへて、あるひ	一般の美観がさかんだつ	水がついて、ニーといふと物を	つたか、さらいふのを配腹であり	したやうにあちらこちら三つ四の	になって
一一上本扮銀树云會耐一	<b>室 本 閏 三</b>	普成自轉車商會對		町音であった。 記憶なのだけれど、それは木綿の	770	? 		alogeichiの時間神に聞るものが多か 一込む人か多つて、最最重の中に多	り野しではいけないの きょりん	日し、遊んでみると質問その通りな
こんでが選手がことで	咸南洪原印即建西	成南與宿邑本町一丁目		分で自分のものをえらんだ最初の		Ĭ.	*	や時には一般的の世界にまではいり	近望ます!一面白く思ふやうにた	<i>#</i>
en ac	1376 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127		<b>藤根</b>	はいまなほ忘れ難いのである。自	た	すか	<b>6</b>	たちは正をとると目然に歌や解句	いへば 「今昔物語」といふ本は	丸まを
	電二三九番	外 聊員一同	超越沿海女工吧证是校長	度類に、目がさしらしてうれしさ				こまでのなかったってれば指導的な批説等	りてない。からいふものにもやつば	に確言をしたが
	辰己自製車西會			要上、姉は姉私は私と新しく買つ	のだる	作るのであるが、前	たやらなもんだ。そこ	や哲學に運じた人であつた。 さう	といつていくや	を開けれ
	電波用リヤカー製作	一旦有郎更司是一		て行ったがお正月の彼付だけは必れた。私は姉のおさがりばかり着	な地壁の上にのみ大脳は成長する器をカれめとは元星なり、大しカ	結局それによつてたしかな地盤を	は一時間かくるところを計画分位。年で到達した。みんな智能に歩け	界を築いた。他路家も西駅の文器の能響のもとに出図し、自己の世		台手は絵画されたの四、教養の問題、か
	11 mg 112 mg 112 mg 112 mg 113 mg	***************************************	單具一同	くやしさを、母にしみて戦へてく			こうなつた状態に数十	西歐文學		題、モラルの問題、ヒューマニズ
関道 同 名 派 長 可 一	福	写 編 之 俱 为	ţ i	初めて自分が長女に生れなかつた		存在となつてあるのだ。平衡の運	本は西歌の諸問題が何百年といる	さらいふことがなかつた。自然主	の精神生活を知る上には大戦面白したものもべたいか、その頃の人	問題かあるかわ。社館医師心の問題もよくは所らないか、何力策しい
	御料理ランゴン	一 招 州 <b>国</b>		行も遠しく、一年をすぎてもう一	変数ない。確当は、10世がは民々一大きな位置を占めるそうな作品は一	ない。一般の地域との間にいつま	君も知つてみると思ふっつまり日とはほからう度を言ってゐるから	もつと出て来てよかつたのだが、の方面から新しい文画の批画家も	京都 は	何かみんなの問題になってゐるか
<b>朝鮮總督府</b>	ぬ ア エ ー	# 		思った事がないのに、それだけは	しかしまだまだ世界文學の中に	で枯れてしまる。そればかりです		のは驚	一ふものもどうして立訳な作品だっ	しばらく
	or the state of th	The state of the s		いままで、度も姉の機をほしいと	一つたと思つてゐる。	何でも移し入れることをいふので	養の問題とかあくいふものは、み間題と一記当的概心の問題とかる	微 三	谷川	
	現代の成一日二〇海田		一颗員一同	姉はその様をいつもの通り歌年	それどころか日本の文型の歴史の	ろ文型にしろ向ふの新しい運動が	今日に於けるヒューマニズムの	Î	望の一ろき	
	· 动	不	立人和才智	出してひとり感心した。	使は無側面とするものではない。	な地数のないところに、美術に、の数異性としょの、一つまじましょ	200	<b>李</b>	戸頂りと奏寺	
	第号大機里	松ヶ技町	治川分次等	といふのはなるほどこれの事だな	通力とそれがなることになるんだ	とをかわり、言つてゐるが、失過	→ 急駆には指などもずいぶんで		正典文學の再版律	
京城巡灯的路組合			***************************************	と	ることであり、延いては新しい推	性といふものが見られるといふこ	かっち		しまります	
	5	樹野蔵美顔日町		で、身動でたびにシュッシュッと	ることであり、再出舵を有利にすしかしそれか結局地盤を産固にす	日本の文化の諸分野に実場の避難したが、まあからしておから、僕は	こからすると今日の政策といよるいと時またと乗らに即へ進む。そ			
	17 元 18 15	成鏡モータース商會	成 声 量 每公舍角基交易 高声第二次	だぞうにびしんとついてある。歩	見りをするでうに見えるものだ。	ある。このたとへは楽しまづかつ				東エリ第五
	プコープランス	・ 株式 育出 寺内 占る	成産新昌里が普通學校	つすぐに、生るで折眠でもたゝん	動といふのはどの方向でも一見後	一分大のないらきがその間にできて、数	を扱ったり落目になったりすると時はろくな時でない。人間、争か			
				が何ともいへぬ深い光澤をもつて	者も恰良からいよ意味を持つてあ	で足の早い人は十五分で到着した	らう。一個国を上りかへるなんで		1. C. 18	
							A comment of the second			

+

情で顕れるやうなら、その由を前 かわからない。時や服装の も宜しいと思ひます。そうすれば

登場がありませんし年配の方が唯

ね、元も、いかに富まぐれな流行 根熱(?)にはちよっと恐慌です

して下さい、砂糖と水をさして受せばずぐにむけます)よくつ

世の機関がなつてゐない所から結

類の出来る時代はやつて来ないの

眼

れは非常に間 く!」己れの娘を知つて不足の所

をおくらさないやらに力を添へて

なものを見討らつて持参ぶします いか、それとも遠國から頂いた珍

よばれの多い正月 とれだけの

場になつてから出席することを光

|春さきのドレスのモードが、早々 | その龍雄には、今度スカートが短 | の種となつて居まず、たとへば思 此の長さこそ、全く猫の目よりも

とした理由があるのです。つまり

プレアが | 英他金色、青色などを出来るだけで、つまり | ツクルをグリーンで合せるとか、

大きなボタンを仰々しく附ける

くなったのです。アンコがニー 翻緊に観るもので、今度も、例に

流 行

**ろりとさせ、噂を少々加へ甘味を一ひません)まはりが狐色にふくれ** 

ちに切り込み組をつけて面をこ 品のラシヤ紙に鉄を入れて圖の ペーパ(語り) カツティング

難りませずいしの程度で宜しい でせる。その際話れずに御携得の international control of the control

『早くよ話題 春先のドレス品定め

**折ですから、緊ਆを害する語や、 ら後日に墾しても一旦は一周と共・・・ の心が満められてゐる。那くなど歌い開棚でも話があるな話題。 新年卓々ですし、人々 いは經費にいけません。 際に夜分・・ 新年卓々ですし、人々** 島ひます、目下の方からの招待 いものをお倒けする方が貧しい べて御いとま或しますが、此の際

描録に入れてよく 皮をむき金質で叩きつぶしたのを (その一) 落花生の炒つたのを

香はしく塔にた香茶に熱いお湯

アチラ話のは

年が行いから、腰十部のやうに

対目 競人、疑問とひよりは、一年 上泉母の生活材の四天主の一人、

慶尚自動車部 代黃耆 生部又一

半任

H

新

郵

便

 $\Box$ 

葛那

人與古氣高輕出張所

क्त 븝 **濟生堂** 

あく武士に生れて一度はこの

M C 日 岩監學 W 源三郎

理事

超過過過

日岩金融組合 職員一同 中原 景 崎 朝雄 繁榮會

朝鮮產業時會計 計正 代行營業所朝鮮運送營祉 宣 Ш 宜 Ħ Ш 察 JII

金井蘆洲

局震敬言祭署

員

同

龍仁警

察

職員一同龍仁郡廳

國武農

場

宣

]][

稅

務

署

宣川金融組合

久 野 野

逸三

龍仁郡

農會

一同

西部區 谷口 豐太郎

宣川郵

便局

源羽鮮酒造品

田舎武士の面目三 はない。時の将軍家師競役一萬日 現も角も先方は高常の緊ਆを

雲水面職員一同

龍仁金融組合

土肥景

醬油酸造所

江景穀物商

賀

倭

治

玉麗

音振

三省 醫院 工作 奎院

德谷面職員 局靈面職員

龍仁

稅務

藤戶政一商店

質的 易物

源

興

Æ

蓝面

九音會

貝

二同

出張所

宣

]]]

郡

廳

中谷面職員

職仁出

一服所

平

安

<sup>圓</sup>所

開津面職員 星山面職員

雙林面職員

茶山面職員

趙

川精米所

学選機製造元 製作専門**荷工鐵工所** 製作専門**荷工鐵工所** 

8 冒責廣瀬健次郎

旅館

**本**榮十郎

島屋

佐々木 E S 幸喜 宣川酒造森會社

電話一二番

宣  $\mathbf{M}$ 

口際外科 新安 齒科醫院

山村語 日 永 電 蓝商 六命 審會

署

會 館

菊

#屋

<sup>技</sup>旅

,館

T

新葛金融組合

備帝兵衛

新業 二信 商會

仁 濟 病

院

邑

望易**商信一商會** #朴義京

Ī.



建設の槌音は朗らかに (質庫の扉は開か

ひょき

ろ

地域元計越元成の域に遠し世に本年度は30年度望一期とともに産る本海へ興徳の道的な一般に到す物が優、治水工事、都ら計畫等交通になっ面目対制が優、治水工事、都ら計畫等交通になっ面は、対制が優、治水工事、都ら計畫等交通になって、原復道路の裏澤は全層下に行悲り治安工作に申よ **関助让の大河を挟んで北に安東は第二ヶ年に亘る職にふさはしい大威将の出現に努力しつ、ある設一歌網いの下に着々と進行し異略日報度圏の要** 戦雨地の回路に既往一ヶ年を展記すれば人口増加 による對日、對声散場の增大等態領一組の総合精 翻の統一による征安形面の餐業促進、日前経緯提高された那人進出の第くべき實政をはじめとして く同境安液の緊密なる観音提携は共雨的

概々として非認されるの宗教を派し職証門境の工業院| 大震戦を釈求してある水下ルコール主導・特殊所、静銀支駐院部第五代住屋の帯線を源る仏史工業が水下ルコール主導・特殊所

滿兩國

の握手に

つ密輸清掃か

第一線當局の撓まぬ努力によつて

十数年來の難問題を清算

窓は即じて待つべきものがある。 ないらればいい はいかい かんじょ 質には といっては 自動館の 関節 日海道の開拓となり 定義 南地の家元を削すべきは勿論、ひいては 自動館の関節 日海道の 財産 に大連都のの みならず 質に 自剣 到鮮の 見じて 我認起を覚し、 更に 編載・ 西に 大連都の のみならず 質に 自剣 到鮮の 見じて 我認起を覚し、 更に 編載・ 西に 大連都の のみならず 質に 自剣 到鮮の 見じい 機関今や創金の時代は過ぎていよく 全球に入らんとしつようで、しかもこの機関互動制制機能に表がは二十萬キロ、本庭百萬年ロに及ぶ網球にの大震流計・維証を記述側な節に於て翻奏された新美州、中江級問門百十年外數線の再岸振り原に新巻より本工事に費手する問組の物幹江製紙、非秋十月憑質財主能の原更に新巻より本工事に費手する問組の物幹江製紙、非秋十月憑質財主能の原

刻一刻と押し役せる日前経済撮影の巨大なる波音の中にあつて 飛躍の時来る」の聲は安哉に頭も光ちてゐる、昭和十二年の新春!この策。 智を約束されてゐるものは質に國境安義だ、今こそ「開け上質庫の庫!」 この天興の劉軍の節の前に全身これ力となつて明

**會社 古 野** 

信

電話長九〇元 幸

正商

八堯會

平安 北

道支部

関ロ

聰

平安北道各金融

組合

組

新

義

八州警

察署

李源有

合 北

會

新義州稅關職員

同

道 聯

新

義

州

金.

融

組

合

新

義

州

郵

便

局

中村美質

貿易の進展に

新義州鹽賣捌人組合

多獅島鐵道珠金

精三曾 三郎社

地

悪まれた諸條件 日満交易愈よ好調 新義州科關長 池

髙

橋

春

表

谷

佐

平

新

州

廳

平尾

郎

福囊

闁

旅

ĸ

頁 子館

組合

のから

中公播一

**蚁境勞働組合** 

鳴綠江木材

產

業

組

合

**新義州薬砂町五丁月壺ノ拾四** 

新義州府本町四番地

國境商事株式

會社

年岁度了上

和義金融組合

内辺野緑の移出は五個一千二百萬田(一期三分)の滑加を正し、一方料出人合計に於ては二十二百萬 田 出は八百萬國(一割二分)を入は百萬國で之を前中に比較すれば母 (2) 下方百萬興,全計一個八千 移入は八千八百萬國「一別六分」。故して終出は二千八百萬國(二別六分) 個、移人は六年四十七百萬國 なるものがあつた、即も對外回 |干門当島国(一型阿分)で、 **応五手九百萬國で朗中に比** 

平壤地方專賣局 朝鮮防腐器配 クレオソート油木材防腐室 調事 新義州出張所 平北穀物協會 袁

班義州本町六ノ一番地

新義州料理屋

赏

業

組

合

土地改

八人

電

は相常無色があるものと見、経費方数を限るに売りその結果部「両いる名を温度なく緩弾して骨外間は現在終業中なので買款」て、各國ともに進つて國家主義的、二年中に於ける深能毀滅部に職進し、最も地の利を都てゐる朝 (飲を城出してゐる、之が財策とし、鄭等の實練を通徳するに昨郎和十一段も地の利を都てゐる朝 (飲を城出してゐる、之が財策とし、鄭等の實練を通徳するに昨郎和十二

間により過去に於て最高別録をお 別外國、財内地を合せた極移出人 話に於いては、徳二下四百典間 別一分)といる酸脱垢を示

松

Ţ'n

寮

取締役社長

義

明

卓

目河

- 株に見ざる魅力一致の下に燃燃整一完成の裏は歌が軍をはじめ一般人。 れながら全部一を獲得したことは一段の名明小等機権済縁に向って能、質をあげるものと即待されてゐる。 積を持ち極めて不利な立場に置か に収入到報州署長、申付安良祝齢。 た安蔵の総称も今年こでは清掃の 一十年万里といふ会話第二位の要面 東に野像江上の佐門通行禁止に収めを示し、ことに参手の概であつしてある。一組合の提出開版作均四

於てしかもその連繫の縁無地帶で てさしも服削を釣ってもに関連の のでなければ、らない日間開園に 「「「「」」「も」「「こ」」「も」」「

正案に復居し位か中ヶ甲を出すし

要がイントを確保してあるにいっさ 御池に敷垣に乗つて月前院路の重

作金能がりを認識するもの

・如化・蜘蛛山の

「事を翻起しつ、あるに自旋胸膜」る、しかも現在二千名足しずの密での翻線化を除て、照確に終って、思の策も凋ぎの一流を辿りつ、あ

要は他地方に移動せんとするの形を開発者も翻正月を前にして正平に

土道の光あまね

に樂土質現

**等多き康德四年の春を謳ふ** 

安東省總務廳長

別

宮

秀

いで國の高山等好食棺が揃うて眺」と重観別げの東コンデジョンに次、の語説を記したに対るものであると重観別げの東コンデジョンに次、の語説を記したに対るものであると重観が創、頭に既行に対ける場合。 の単進を返れるに相関しい洋洋県投稿が開きの重要に続きれた揃う開き の言語を記したに対るものである。

唱。

義州市街の一

義官郡並に長間の復古と新設 比較成開「育ぶ近」

# 市計畫確立して

**鴨綠江白魚水產** 

横

畑

幾

久

新義州電氣器

會社

中野肠次

新義州旅館組

安東縣旅館組合

イロハ順

屋

新義州公立學校

長會

くるのという

近く出現する文化工業都市 新義州府尹

要工作に伴ふ歌歌部落の雑談、野り過ぎし一ヶ年を期かるに一、治 盛に無に四年の衛生を辿いるに常

金組は全鮮

農家世帯の六割を獲得

平北支部鼻高

鮮銀支店

備巡路S開修一、

フトーとして港内一圏に亘り監試 数の四割四分、監察世帯数の「陸村振興は金原設合から」をモー丁六百九十三人を算し本北発

数の四割四分、農家世帯数の上

紅

商品

鴨綠江運輸料

支配人

中

西

如玩地

豐吉

平安北道高等官.

安東縣銀行集

會所

著をある

しきものがあり産業に、今中國運の推展は實に限

如の旗下で 新春に覺ゆる力强き感激 **「國境道** 

都市に村落 安無量その他各様とも どもに好調

回収設器を収め新春

白萬キロの

鴨綠江電化

加蘇鏡

場合はこの商品、新築州、和楽金 の、村落ともに好削を見せ頭線支 の、村落ともに好削を見せ頭線支

年末金融



平安北道々廳

のぼり、うち産機関係のもの五年 の地理他们製性を物語った、

さず現在の内状部を開分して新に は到底規則の内務部問題組織を ばを腹部するにようはしい大器

|| 莉春を迎ふ||が大陸城策は始めて確固不動のも

安存機、京義線の

安東挽材株式會社

に山に躍る幸 『産業部』〉創設が急務 誇る平北の産業陣

自被、産業の三調からビック・ア

東土に一年二作

立派な道理と隣接他洲回との一

優良船大量建造

軽加人は唯一の好頭翻進の度感に

たのでありまして之が實行は勿

来を想ひ勇鞴一番、時運に一致に斯賽を迎へ既往を願み 體様を備ふるものでありま

精

美

舘

福

俗に誤印し施政二十七年にし一般じますれば二千本同胞は点

い次第でありまする

北神野を我が生器の現状に

技術の製作を見るに至り、 大資本の数下を見るに至り、 大資本の数にな難調图 が通り子の大跳を脱起と 大資本の数にな難調图

して一般の確安も許さざるものでありま

平安北道知事 美

流

關係書類十萬通を超え

由

良

Ż

助

滿洲是菜業協會

安

東

支部

**英葉縣市場通べ丁目** 重枝洋行本店

倉 田 人安 代明行社

芀

松

鴨綠江製材合

同解社

安

友

會

鴨綠江製紙株式會社

牟田吉

之助

朝

鮮

Щ

林

曾

平安北道支

部

滿鮮坑木株式

會社

近

藤

松

Ī.

郎

安信無盡聯合社

三省精米所

安東窯業聯會社

安東四

番通

商

店

安

東

取

所

安

陞

公

司

安東取

引

合

木

濱

雄

产多洲

生

李座迪

元 富久壽美ホテル 富なき旅館

平安北道立新義州醫院

院長村

田

中军主张

**東京東京第一時間店** 田菊次郎 木 熊· 鴨綠江輪船 社長多

H

榮古

金基鴻

赤



**作署** 

防部野男

材

古田雅

河洲安東縣市場通五丁目

能話一七九番

武

藤

商店

能開雲八霄

唯會 種

13

庆年

h

無限製材株式 會社 中村え 紫田站光

組合 阿太护心

灣 安東材木商滿洲安東

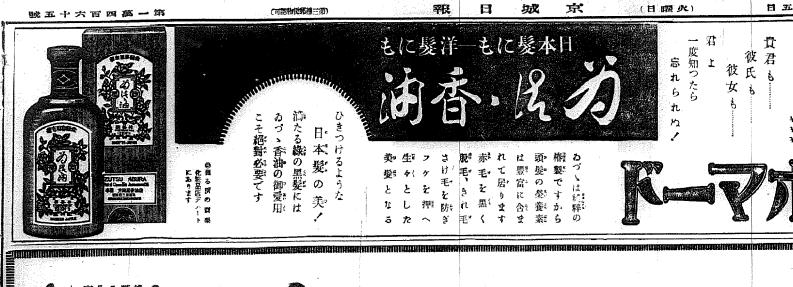
多多的

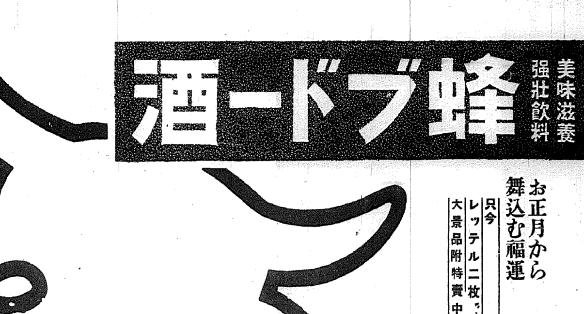
姓住 日日日 朝

19 院之るなで

滿洲電業株式會社 在平春一

将维江林木公司





版大・社會式株**寧商藤近**京繁

近代人が

品質で 芳

の菌病・め强を力抗抵 剤合粽ンミタビぐ防を入侵.

## !! 備防のへ病器吸呼

諾・佛・米・英・日

康の

ての

## 

威權の究研油肝

ミッワ肝 油ドロップス! に肝油剤は

B.63

**太 勧 實** 

經 濟 な 肝 油" 机

術的の加工は 益々品質を上げる 

化すればなぜ 消化が良いか

肝油は脂肪が効 、結核等の呼吸器網に罹らぬは、抵抗力を がそのだといる般がそれは間違ひで、全日では 別なのだといる般がそれは間違ひで、全日では 別なのだといる般が多れは間違ひで、全日では がある状態がある。 がある状態がある。 であります。 へのではない

力を る綜合祭芸

銭○二四一・銭 ○ 六 價 定 代 石四四 • 钱二四二

部品藥・店商屋見丸 舗本鹼石ワツミ◎ 画頭・京東 ○ 「・・・ニーニ 異代推動結構 ヤミ〇 韓電・電子に上 京中"振

F油卵ウッミが及書明線創文 見 記宅名明新、品本見スアッコ とこの大会の人に、近年等にした

(王十)	****	·大百四	/高一	斑 ,	(	可認物便郵種:	EAD)	4	挺	B	规	求			22.000	<b>(34)</b>		or and the same of		- September of appropriate	二十和略
まいと云はれてゐる。婦人産総、これでは、話では、間間の理解、三、一個不可以、」の、記述、日日したものない。 我に起いてつて記文へゐるまい。 彼に起いてつて記文へゐるまい。 彼に起いている、話では、日本有三、古川・延治、大人な米正確、由本有三、古川・延治、大人の米正確、由本有三、古川・延治、大人の本人のない。	<del> </del>	大楽作家の園屋組となってあるが、公式でいがい旗がれがきまってあて、「歌」たいがい旗がれがきまってあて、「歌」たいがい道がなどに登場する作家は、雑一様にある謎である。	正月景派を訪け、新年號の		文壇稼ぎ	A-11400	して、整脈に胡錦の具を殴まていた。今より以後、戦制しおはその際を喰ぶ。国しく記ってはその際を喰ぶ。国しく記って	て此の数を削ぎ、置つて暖をつく こ、状態つて穏やを事とし、牛を磨し こ、共の功質に犯し、然るに 無朝の 思い 正の 功質に犯し、然るに 無朝の 思い	一年の用をです。図「建暦廿二年十月	おくばとすり、食三者られても記した。 作に対して研究に登録をはたす、 のののでは解析する語は悪く数へ数 しかける はない は、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 ののでは、 のの	物を見はせても少しものというとしても、神田の中心としても、神田の中心としても、神田のとしても、神田のというという。	です。		はな、一つつ酵母ピンなくまっつ を施 ボックを容易に使用し思るに相違 りがこのクリチカル・エ リリー 佐藤の前で取る キスプを作され 一方面			取り関上に耐耐増加するか、特別 100時的、猛省一部して、今年こ 自り 100時の、猛省一部して、今年こ 自り	左続を飾り、年の時め、月の時め かったで紀次の隆祉と、我た次の研修 が今年次で紀次の隆祉と、我た次の研修 が 中の年の が かった	個字の照用を述ひ去つて、帯しく に配のに軽さされて、身から心から、 とな	では、原の関連を できます。 一直に関われて、中の関連を できません	昭和
一般のてぬて、婦人種様の方面では 一新人の声観など起くない 古皇者 丹斯人の声観など起くない 古皇者 丹斯人の声を立てといい 古皇者 丹斯大都党などは腕板待逃といふと くころであらら。 『神子神子神子神子神子神子神子神子神子神子神子神子神子神子神子神子神子神子神子	松太郎、中野宮の流行見が励れていわけ、現代別がないわけ、現代別がないわけ、現代別がないわけ、現代別がないわけ、現代別がないわけ、現代別がない。	の神楽器ででせり一枚十回以上と を一般にをする気形で、こくらが文庫 一般にをする気形で、こくらが文庫 一次には 継続の メ切けが 近づくと 一剪	してゐるが、その代り吉川疾命の「そ」道もやめて有名な市内態行も中止」も、上京蘭の記者があつた程だが今は「み」	元子にどにはひとしきりは三二上などにはひとしきりは三二十などにはひとしきりは三十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	<b>人列傳</b>	おかるまい一	でも、お前に家を褒めてくれたでも、お前に家を褒めてくれた。	・ 対のにも私が無瑕器みたいに、如何にも私が無瑕器みたいに、	をよく	ため、そのまなこしよう。	「お、あなた」	. 】至乙	「幸福は地なり、世界といいの意味は地なり、世界といいので、世界といいて、世界といいし、有ゆる人間の知	し、自鵬して以て自己で、自己の性格の長切で、自己の性格の長切で、	へ 人配の消去し、 時別一回のよ		・は、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	- W 9264 .	に恥ぢない魂を披轍をして、戸民となる勿れと、鳴呼何と跳ね、牛の各となるのれと、鳴呼何と跳ね、牛の各となる	植りず	
などは最近の林島は大田田三郎。		をとはしてみるかと思っず、解紋である。 型生原屋が膨れも見せず、大物である。	そのかはりでもあるまいが、永井一郎も不出退、正宗日島また旅行中、一はゐないし谷廟間一郎も、正絃秋江一た		村が一枚加はるのだが、今年は底でり吹きが日登ましい。 例ずなら聴い	けてしまく	z. i (	<u> </u>	85	にいるないであった。 こうない かりない かったい やったい たが、チップとい やかりはい とったが、チップとい やかりに いったい かりに いったい かりに いったい かりに いったい かりに いったい かりに いったい かりに	10 15		を交へるに至つたのである、常時 との賦を脫却し郡ずして、自食館と 力の別を脫却し郡ずして、自食館と 力の別を脱却し郡すして、自食館と 力	の を知り相互を解釋して機能を避け が して進まない。従つて使を知り已 が に相型等の人間型は末だに延々と	が、自己を解し人を知る機相撃、いての側部は長足の進步をはなした。へての側部は長足の進步をはなした。	心がしたり、文明は経験したりと 誰かい ふ人類は	相貌がら、その階位と配館とを記ったあるから、主としてカイゼルのがこの大彫町の結果を決定するの	100000000000000000000000000000000000000	9 [1] 270.	記に関数したことがある。 果	·
五十岁百岁の利達だ、歌戦で汗転の出しの戦田たす女更にしても、中学一句に趣ら性だけに、人家はいくらあつても、歌人はこぼれるいとらあつても、歌人はこぼれるほど人るわけではない	古居信子とは比較になられほとのい。 これは、中枢目台子、神経になられほとのいるとの地中間子、神が由子、神が由子、神が由子、神が中にしても、様英妻子と	行くと様で音子よどは、まごう、 信代にするわけでもなく。そつく が代にするわけでもなく。そつく	は下るまいと云はれる無強語だが、いっぱで、この人などは月敬一王則		で今年を期待される人に	過目世		ない。						(白)四八の一目切取りは常然 ば	・関係から、将来に不安を軽すか 「 会」日、一大が無力になるので、眼形の乏し のは、一大が上となって、四七の押 く	対局者の言葉 (2.15)	(4	七三藤加	] 段三 b, を る	手大見 響 郎 ロッシュー 日本	と昇 機構 ・上井 段四 ) へほに立るい 
お問ひを立てたら 観覧的のも オードン 女性にと のものります おんまにと のものります おんまにと のものりま	ドの五大スターに 女性の美し な生の美しないが振頻回 を生かすがしてハリウツ 先への聞いたついてハリウツ 先への聞いたのなってする。		11号ではより、でて選手のと氏。のアラを探さらとして新聞記書が、らのアラを探さらとして新聞記書が、ら	よりん ム	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	大きる	の仕上げが上手な標樹を持つてる。 総選達してみたと言ふべきである。 総選達してみたと言ふべきである。 総		हैं 🏭 🖁	らぎらり別もびとなって、『こり らいのない 単に 女 に を こうり に 数は 即の来 に 曖昧を 玉 らない 中に か 数は 即の来 に 曖昧を 玉 らない 中に か かんしん かんしん かんしん しょうしん しょうしん しょうしん しょうしん しょうしん しょうしん しょうしん しょうしん はんしん しょうしん しょしん しょ			表と格せず、彼と格せぎも辿ったいのできな眼玉の際出してゐる人のできな眼玉の際出してゐる人のできな眼玉の際出してゐる人のとは出来ない。 単寛カイゼルことは出来ない。	「ち十」に押し白五一の時、他一世	「八十四」のトピが本事でせら「二八十四」のトピが本めて「十四」のトピが本事でせら「二八十四」のトピが本事でせら「二四」のトピが本事でせら「二四」の「一一一四」の「一一一回」の「一一四」の「一一一回」の「一一一回」の「一一一回」の「一回」の「	は、150でには、14打分で、 をによっつでは、15十七」に打扱くもの でせらか。 ではらか。 ではらか。 ではらか。 ではらか。 ではらか。 ではもか。 ではもか。 ではもか。 ではもあり、 ではもか。 ではもか。 ではもか。 ではもか。 ではもか。 でいるが。 でいるが、 でいる。 でいる でいるで、 でいるで、 でいるで、 でいるで、 でいるで、 でいるで、 でいるで、 でいるで、 でいるで、 でいるで、 でいるで、 でいるで、 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でい。 でい。 でい。 でい。 でい。 でい。 でい。 でい。 でい					######################################
身せはのの・の をん何は女シで やいも真性アナ	に登は、それを食道すべき い思、各人動かす事の出 い思、各人動かす事の出 い思、各人動かす事の出 い思、各人動かす事の出 いと、その動かす事の出 い。	なおスプログルス	として共田例を示してゐる。 監督	又見よー亞宗利	Go。波斯が大軍を退げて希臘を 必懸した、サーモピラの合脈を見 で、正派公道は何れの軍にありし	今の例として公前を定めたがは	Bした貧大型版、大型野点にその終公道の首唱者であつて、それに終め時刊を得るものは、原子正	かり、度いし、	胎えを	「高れこな数で引わり、出なて 前相はドウかつて?」 首相は筋 らざるものがある。我が飛の歌 い形をなしてゐるから、明るべ	は大きいが財ニ者に比して小さは大きいが財ニ者に比して小さ	62 6	で、生り地に、いながいからつって、世界が、由のやうに積んであつた。 唯バイオリンの腐ついた かりで、反対も無ければ子供もになかつた。 唯バイオリンの腐ついて 世界 がいました いっぱい はいいい かいかいがい かいかい かいかい かいかい かいかい はいかい かいかい か	\$ N.	・2011年の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の	を中国しています。 と中国しのメゾキが来るので、 と中国しのメゾキが来るので、 は、白郷によるが出来るのです。			1 25 6	### ### ##############################	400000
少新しき土。の封切 ◇・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の家庭、その方とは、大田の女とかりの家庭、その方とは、社学の歌に、大田が当代見のな祖みは当つての小津到代見の取組みは当つてのの作「生れては見たけれど」以来のことである	→ 大船小車を二郎監督の次回 作品は、伏見風シナリオの「淑 女は何を忘れたか?」と決定、 年内に君手される役取りになつ 年内に君手される役取りになつ		下可能性、第二世紀は1世紀に2世世上、京、第二世紀の世界、東省映版社団本楽雄、田田田一三世紀に7世紀に1世紀に2世紀に2世紀に2世紀に2世紀に2世紀に2世紀に2世紀に2世紀に2世紀に2	=	日語の	東海に、自活の開建二・5共和一切としては大师次郎作の写書的 がとしては大师次郎作の写書的 がとしては大师次郎作の写書的 がとしては大师次郎作の写書的	子作「良人の貞捷」に君手する。 「からゆきさん」里に入江映」で、一切に向いて手葉早智子共演の音目供 として手葉早智子共演の音目供 として手葉早智子共演の音目供 は、古井・二監督力・は	ンアップのうち注目されるのに	IEWS 新山 ゴース O新に即つて売める中である。	村上二年のクリチカル・ニボックの土富を資料し、脚鹿不退員で座		と観させています。 難いのである。はしく過去の事質 は終公道以外に期利を得るものは は終公道以外に期利を得るものは である。はしく過去の事質	この成果質なお調である。	を記しています。 あるが、源の如くトンで『を三』を とこっかを利かす資味も のかれた途端に『は でと三』をフケを利かす資味も	るのも垂越の好動である。 までは、黒は無路「と十五」のノゾキな III 大きに自「と十五」のノゾキな III	上馬に寄じ、「わ三に大ゲイマト」に備へるとすなば、「ヘ十四」」はない。	D自五十は常然「る十七』に打破 D自五十は常然「る十七』に打破 Dは五一のカケッドは、左下方面 の基二一のカケッドは、左下方面 のと、黒の腿形の成否に酔な	で問題とすべきではなからう EMH 社で策に『ヘ十四』にトン語問社で策に『ヘ十四』にトン	「評解」 五段 (制限時間各八時間)	
の 古本信服 の 古本信服 の 日 中 貢	沒田 作 和 加 加 加 加 加 加 加 加 加 加 加 加 加 加 加 加 加 加	在			英	加東 出張 所	<u></u>	では、一年の一年では、19世代の一年では、19世代の一年では、19世代の一年では、19世代の19世代の19世代の19世代の19世代の19世代の19世代の19世代の	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		学	8	魔 遠 膝 唯 男	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	Manamamamamamamamamamamamamamamamamamama		郎	吉本信勝			京、以、「十十十大」と呼ば、 を建築 東、十十十十大 と 手 さ 気 を建築 東、十十十十大 と 手 さ 気 ・ 大
江口酒造路會社	B	養 中島 才二郎		<b>電影 脇村辰藏</b>	原田 数工 所证 五版五大帝	議議通科院神風 原田 高上) ・	神野	200年11年11年11年11年11年11年11年11年11年11年11年11年1	計	第12	理產		爱角 園 仁 助:	北部二一八卷	組合長 30 (47 ) (17 ) (18 )		82.6	學的 中島 学古		體 川端孫太郎 	度北漁業城會和 並 最 濱田 惟和 芝子人 朝野義 雄
\$P\$ 自見卯二郎   1881八者	の の で は の で に で に に で に に に に に に に に に に に に に	類。	144	瀬	湖南線松汀里	全南殖產株式	即有某公丁里	竹田林太郎	17 17 地震災害	南京 李溪子	浦項釀造給會社	文店配阿市下對場小路町	w	心肌勢道 人名英格兰 化二十二苯二甲基	神楽 金 東 西 古 恵 東 西 古 恵 東	浦項運輸跨計		職員一同		音組組成 松建橋小園 量部本山 族族族族 館館館館	<b>下</b>
金谷芳二二	松井芳之助	電話二七番		照 戶 友 顯 所	石電器	宮 縣 丈 八~~	木村 义		李 正 根~~~	日之出朝	ficir :	型 <sup>2</sup> 望月僧仁郎~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	置井置		斯 K 依 信		· 郑 · 取員一同	代表者・山路・駅原・電子・電子・電子・電子・電子・電子・電子・電子・電子・電子・電子・電子・電子・	員 P   1   日   1   1   1   1   1   1   1   1	有京都村公之	細野元助
慶	6州穀	e 📗	尚 化 道		<b>医</b> 角北道倭館	倭舘酒造組	慶 尚 北 道	倭舘官公吏	愛尙北道	題 1 沪 2 杉 云 曾 流		開身官な署	慶 尚 北 道	達城	慶尙北道	外職員一同 職 員 一 同 別 社前 10七番	高等小學校問 頁一同	佐藤 秀 雌	のでは、	米穀商組合 III	雅· 古 見 屋 雅· · · · · · · · · · · · · · · · · ·
<b>乃城邑內官公吏</b> 。	<b>6州穀物商組合</b>		土曜會		朱式會社	四造組合 		<b>公吏一同</b>		電話二三番 番		4署 同	•	郡廳		中谷梅文郎	田副農園			明斯地面工上巨大火ル・	現時を分単 東拓農場員一同東拓農場員一同